

2005年2月27日(日)第50回子どもを守る文化会議

第10分科会「子どもを守り育てる環境づくり」レポート 西六郷小学校(大田区)

路地に子どもたちの声を取り戻そう

朝倉幹晴(前船橋市議)

(安歩権と安全に歩ける街を求める会・クルマ社会を問い直す会世話人)

1、1970年代の変化 ~路地から子どもの声が消えた

- ・ スティナ・サンデルス報告と二分する各国の対応
~交通鎮静化か交通安全教育か
- ・ 交通戦争~安歩権の提唱から埋没
- ・ 子どもの遊び場の減少

2、現状 ~子どもと親に「自己責任」を問う社会

3、1997年以來の8年間の取り組みから

- 1997年 安歩権の再提唱と歩道の点検活動
- 1999年 船橋市議
- 2001年 分離信号設置
- 2003年 膠着 ~新たな模索へ

4、2001~2004年子どもを取り巻く大人の世界での議論

- ・ P T Aの議論と動き
- ・ マンション子どもの遊び場「論争」
- ・ 保育園異年齢クラス編成「論争」
- ・ 学童保育「公設公営」化

5、理想論「路地に子どもの遊び場を取り戻そう」

6、変革の展望はあるか？

- ・ 武蔵野線沿線「仮説」
- ・ 新「袋小路」戸建開発
- ・ マンション内の遊び場空間
- ・ 都市公園の改革
- ・ 世代の変化と展望
- ・ 交通事故遺族の会事故防止ワーキンググループ・クルマ社会を問い直す会
- ・ 「安歩権」を言い続ける